

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

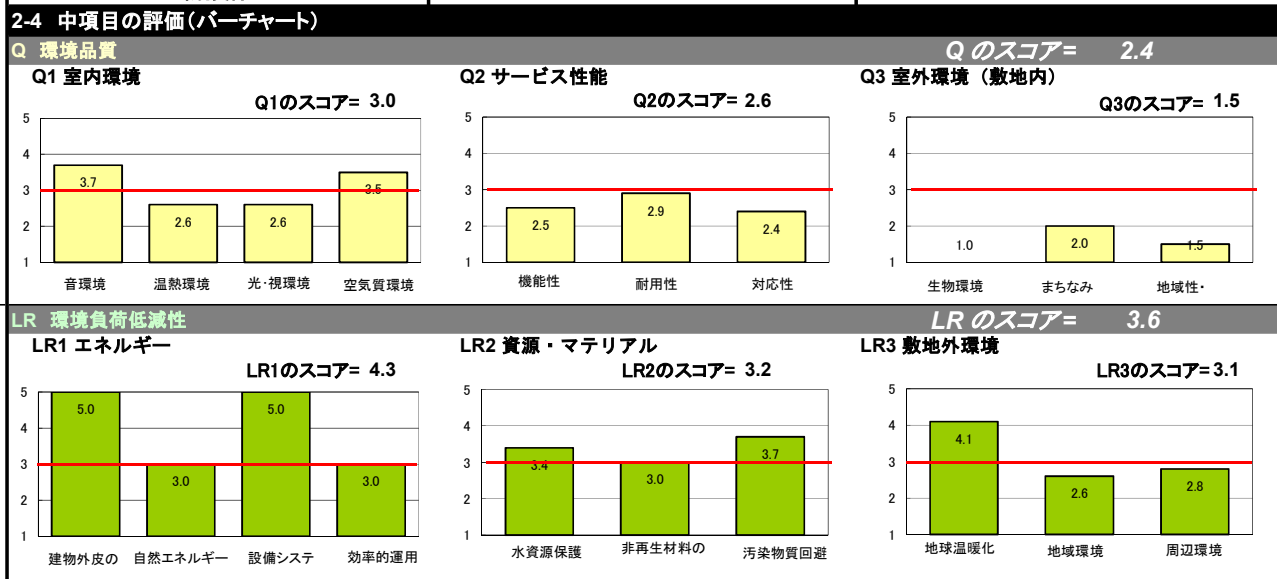
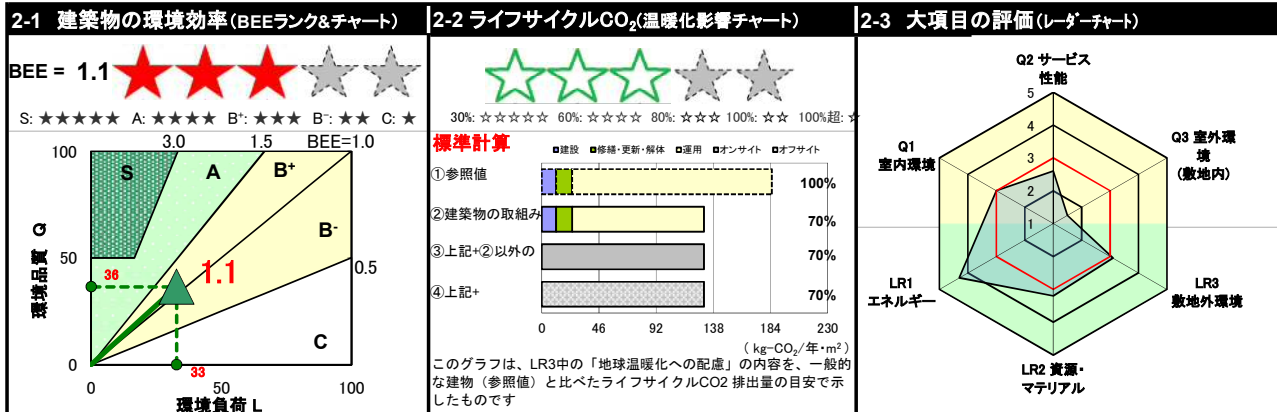
CASBEE札幌



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0 使用評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	FP HOTELS 札幌大通り新築工事	階数	地上9階、地下0階
建設地	北海道札幌市中央区南二条西七丁目7番1	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	442 人
建物用途	飲食店、ホテル、工場	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
竣工年	2020年4月 予定	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	643 m ²	評価の実施日	2019/3/50
建築面積	506 m ²	作成者	
延床面積	3,999 m ²	確認日	2019年3月8日
		確認者	



3 設計上の配慮事項			
総合 耐用年数の高い材料を採用することで、ライフサイクルコストの低減に努めている。また、環境にやさしい材料を採用し、地球環境保護に配慮している。		A 省エネルギー 外皮性能が高い。BEI=0.66。	
B 省資源等 耐用年数が高い内装仕上げ材と給排水配管を採用している。躯体と仕上げ材が容易に分別可能。吹付け硬質ウレタンフォームA種を採用している。ライフサイクルCO₂排出率が、一般的な建物(参照値)に対して70%。		C 緑化 特になし。	
		D 雪処理 廃棄物処理減少に取り組んでいる。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.3)

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

FP HOTELS 札幌大通り新築工事

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.3)

スコアシート		実施設計段階				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分			
配慮項目		重点 評価項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体		
Q 建築物の環境品質									2.4		
Q1 室内環境						0.40		-	3.0		
1 音環境					3.9	0.15	3.6	1.00	3.7		
1.1 室内騒音レベル					3.0	0.40	3.0	0.40			
1.2 遮音					4.9	0.40	3.6	0.40			
1 開口部遮音性能			開口部遮音性能:T-2		5.0	0.98	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能					3.0	0.02	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	3.0	0.20			
1.3 吸音			共用部:二面、専用部:三面に吸音材を使用している。		4.0	0.20	5.0	0.20			
2 温熱環境					2.6	0.35	2.6	1.00	2.6		
2.1 室温制御					3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室温					3.0	0.38	3.0	0.57			
2 外皮性能		省エネ			3.0	0.25	3.0	0.43			
3 ゾーン別制御性					3.0	0.37	-	-			
2.2 湿度制御					1.0	0.20	1.0	0.20			
2.3 空調方式					3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境					2.7	0.25	2.6	1.00	2.6		
3.1 昼光利用					3.0	0.33	1.8	0.30			
1 昼光率					-	-	1.0	0.60			
2 方位別開口					-	-	-	-			
3 昼光利用設備		省エネ			3.0	1.00	3.0	0.40			
3.2 グレア対策					2.0	0.29	3.0	0.30			
1 昼光制御		省エネ			2.0	1.00	3.0	1.00			
2 映り込み対策					-	-	-	-			
3.3 照度					3.0	0.14	3.0	0.15			
3.4 照明制御					3.0	0.24	3.0	0.25			
4 空気質環境					3.5	0.25	3.5	1.00	3.5		
4.1 発生源対策					4.0	0.50	4.0	0.63			
1 化学汚染物質			内装材F☆☆☆☆を採用している		4.0	1.00	4.0	1.00			
4.2 換気					3.0	0.30	2.6	0.38			
1 換気量					3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能			専用部:大きな開口部を設けている		-	-	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.50	1.0	0.33			
4.3 運用管理					3.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視					3.0	0.03	-	-			
2 喫煙の制御					3.0	0.97	-	-			

Q2 サービス性能			—	0.30	-	-	2.6
1 機能性			2.2	0.40	2.8	1.00	2.5
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性			-	-	3.0	0.50	
2 高度情報通信設備対応			-	-	3.0	0.50	
3 バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観 (天井高)		飲食店の天井高:3.5m、 宿泊部の天井高:2.6m。	4.0	0.03	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			-	-	-	-	
3 内装計画			1.0	0.97	1.0	0.50	
1.3 維持管理			2.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			2.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性			2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.1	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		省資源	2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		省資源	4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		省資源	3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		省資源	4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		省資源	3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性			2.4	0.20	-	-	
1 空調・換気設備			1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-	
3 電気設備			3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.0	1.00	2.4
3.1 空間のゆとり			3.8	0.02	1.0	0.50	
1 階高のゆとり		飲食店:階高 4.66m。	5.0	0.60	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			2.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.02	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.96	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.5
1 生物環境の保全と創出	緑化		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	緑化		2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	雪処理		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化		1.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネ	外皮性能が高い。	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	省エネ		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネ	[BEI][BEIm] = 0.66	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	省エネ		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネ		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング	省エネ		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネ		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		衛生設備に節水コマが付けられている。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減	省資源		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	省資源		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	再生クラッシュラン	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	省資源		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	躯体と仕上げ材が容易に分別可能。	4.0	0.20	-	-	

3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-	
1 消火剤	省資源			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	省資源	吹付け硬質ウレタンフォームA種を採用している。		5.0	0.50	-	-	
3 冷媒	省資源			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮	省資源	ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)に対して70%。		4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮				2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止	省資源			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 熱化 質処理			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	省資源			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		駐車場の確保に取り組んでいる。		4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 質処理	廃棄物処理減少に取り組んでいる。		4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				2.8	0.33	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1 騒音				3.0	0.33	-	-	
2 振動				3.0	0.33	-	-	
3 悪臭				3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				2.3	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				2.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.3)

1 建物概要

建物名称	FP HOTELS 札幌大通り新築工事	BEE	1.1	BEEランク	B ⁺
建物用途	飲食店,ホテル,工場,				
延床面積	3,998.7 m ²				

2 重点項目への取り組み

レーダーチャート



3. 重点項目のCASBEEスコア

A 省エネルギー (最高点 23.8 最低点 7)				合計	19.7点 / 23.8点
Q1 温熱環境	スコア	0.6 / 0.8	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	3.9 / 3.9
Q1 光・視環境	スコア	1.6 / 3.1	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.2 / 2.0
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	10.0 / 10.0
			LR1 効率的運用	スコア	2.4 / 4.0
B 省資源等 (最高点 23.7 最低点 7.7)				合計	14.6点 / 23.7点
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.7 / 1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.4 / 9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.5 / 2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.7 / 1.9
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	4.1 / 5.0
			LR3 地域環境への配慮	スコア	2.2 / 4.4
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)				合計	4.8点 / 15.3点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	0.9 / 4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0 / 2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	2.4 / 6.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.5 / 2.3			
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)				合計	0.0点 / 3.0点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0 / 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.0 / 2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数